

AKAYA PROJECT

赤谷プロジェクト地域協議会 / (公財)日本自然保護協会 / 林野庁関東森林管理局赤谷森林ふれあい推進センター

赤谷の森だより

2016.02.01

vol. 31



いのちを伝える
営みがある

赤谷の森ミニ写真館!

今回のテーマ 小出俣の「巨樹・巨木」

赤谷の森でわかったこと
小出俣沢に「巨樹・巨木観察コース」
を作りました!

(公財)日本自然保護協会

赤谷プロジェクト環境教育WG座長

横山 隆一

トピックス

● 地域と繋がる赤谷プロジェクト

みなかみ町立新治小学校教諭(理科)

石坂 克之

● たくみの里「森の恵みと学びの家」から

小出俣の「巨樹・巨木観察コース」を歩いてみよう!



ブナの巨木



風雪に耐えるトチノキの巨木



時を刻むトチノキの巨木の樹皮



肩を並べるブナの巨木

小出侯沢に

「巨樹・巨木観察コース」 を作りました！

全国の山々で、大木が本当に少なくなっただと思われませんか。鎮守の森には、東日本ではスギやケヤキ、西日本ではクスノキやタブなどの大木が残っていますが、多くは単木で天然記念物に指定されているものが多く、屋久島のように老齢のスギなどの巨木が残る自然の森は限られたところにしかなくなっています。

「巨樹・巨木」とは、環境省が1988年から1992年の緑の国勢調査のテーマとし、地上約1.3mの位置（胸の高さ）の幹の周囲が3m以上（直径で95cm以上）の木と定め、日本中で探されました。測りにくい樹種もあるのですが、赤谷の森のシンボル・ツリーになっっている小出侯沢の上流、千曲平（せんげんだいら）に生えるカツラは、周囲（外周）約8.7mもあり、立派な巨樹・巨木です。また、周囲に生えるブナの中には、直径約

95cm〜130cmの巨木が何本もあり、根株周りでは野生のマイタケ、倒木には野生のナメコが観察できます。この小出侯沢のブナ林と溪畔林（けいはりん）は、本当に見事で、大木には樹幹を登る直径15cm以上のつる植物イワガラミやサルナシがからんでいて、まるで大蛇のようです。

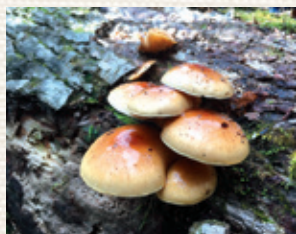
昨年11月、AKAYAプロジェクトの環境教育ワーキンググループでは、林道から溪畔林を通ってシンボル・ツリーの大カツラまで一周できる自然観察コースを作りました。林道から安全に沢に降りられるようロープを張り、主要な大木には道案内標識を兼ねて名札をつけています。今後は大木の生える位置がわかる地図を作り、ガイド・ツアーを企画する予定です。その際は、ぜひ一度ご参加ください。いい森ですよ。



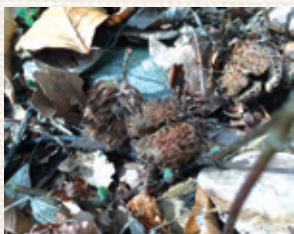
直径約130cmのブナの巨木



外周約8.7mのカツラの巨木



倒木から出てきたナメコ



マザーツリーの種子



ブナのマザーツリー



(公財)日本自然保護協会・赤谷プロジェクト環境教育WG 座長

よこやま りゅういち
横山 隆一

地域と繋がる赤谷プロジェクト



みなかみ町立新治小学校
教諭(理科)

石坂 克之

自己紹介と普段取り組んでいること(仕事含む)を教えてください。

新治小学校で3年、4年、5年、6年生の理科を教えています。毎日、子供達と授業で実験をしたり、生き物の観察・飼育やテーマ研究などを行っています。

赤谷プロジェクト関係者と知りあった経緯をお知らせください。

子供達の、キャンプや遠足といった自然体験学習や、総合的な学習の時間などで、いつも赤谷プロジェクトの方々にお世話になっています。

今後、赤谷プロジェクト関係者と行ってみたい企画等がありましたらお願いします。

赤谷の森は熱帯雨林を起源とするクマタカと、寒冷な北方系のイヌワシの両方が生息する世界的に見ても奇跡といえるほど生物多様性が豊かな「ホットスポット」です。このような赤谷の森

が、人々の生活とともにあることを「誇り」に思い「森の守り人」になってほしいと心から願っています。林野庁の藤澤さん、日本自然保護協会の出島さん、地域協議会の林さんなど、多くの方々のご協力をいただいて、全校での「イヌワシ集会」、「赤谷の森まつり」への参加、子供達による「赤谷のイヌワシの理科研究」発表、赤谷の森「いきものカルタ」を使った公開授業、有志児童と「イヌワシ観察会」を行ったりしています。イヌワシの体も、人間の体も、私たちの飲み水も、すべてが食物連鎖を経て『森の命のかけら』でできていることを教えたいです。学校に「赤谷の森のすごいところ」コーナーを作って、みんなで楽しんで環境学習ができるようにしたいです。



授業風景



研究発表の様子

赤谷プロジェクトへ一言!お願いします。(何でもOK!)

今後とも、ご指導よろしくお願ひいたします。

たくみの里 「森の恵みと学びの家」から

今回は、カスタネットの製造工程を紹介します。職人の手作業によって一つひとつ丁寧に作られているカスタネット。木の温もりたっぷりのカスタネットはどのように出来るのでしょうか?



一般財団法人
みなかみ農村公園公社
いちげ まこと
市毛 亮さん



カスタネットができるまで

「カスタネットを使う子供たちが楽しく安全に使えるように」との職人の想いがこもったカスタネットが、森の恵み(木材)から出来上がります。表面を触ってみるととても滑らかです。カスタネットを鳴らし、五感でカスタネットの温もりを感じてみてください。

①丸くくり抜く



製材した木材をカスタネットの形に丸くくり抜きます。

②溝を掘る



内側の溝を掘ります。溝の深さによって音の高さが変わります。

③ゴムの穴あけ



ゴム紐を通す穴をあけます。

④円盤型に成形



表面を円盤型に削ります。

⑤形を調整



2枚の板を合わせて留めたときに開いた状態を維持するよう上部を斜めに削ります。

⑥仕上げ



片方に紙(赤いポッチ)をつけ、ゴム紐で結んで完成です。

お知らせ

赤谷プロジェクトに関するイベント予定

■赤谷の森自然散策(冬) 開催日: H.28 2/11(木)

・赤谷センター HP で募集中! (募集期限2月5日まで)

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/news/index.html

■赤谷の森学校(冬) 開催日: H.28 2/20(土)~21(日)

・赤谷の森学校主催イベントの詳細は、下記サイトにアクセスしてください。

<http://www.jugemusha.com/akayamori/index.html>



松井 宏宇(まつい ひろたか)

自然保護部 エコシステムマネジメント室 所属

赤谷の森の魅力をいろんな人に伝え、赤谷プロジェクトがよりにぎやかになるようがんばっていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

着任のご挨拶

(公財)日本自然保護協会 H28.1.4



色々な活動をしているよ!

赤谷プロジェクトの活動

トピックス



H27.10.2

みなかみココイラ

みなかみ町のまちづくりイベント「ココイラ」で地域協議会と協働で森と人とのつながりをテーマに「小鳥のさえずりと野仏めぐり」を実施しました。



H27.10.6

新治小学校 6年生「秋の遠足」

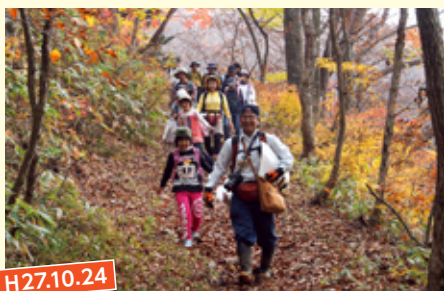
森の中で新たな発見をしながら歴史も学び、旧三国街道を群馬県側から新潟県側まで歩きました。



H27.10.15

群馬県立農林大学校「森林管理実習Ⅱ」

森林環境コース2年生が生物多様性の復元と持続的な地域づくりについて学習しました。



H27.10.24

赤谷の森自然散策～ここで感じる秋の森～ みなかみ町との共催で色とりどりに染まる旧三国街道を散策しながら、森に包まれ日常と違うゆっくりとした時間を楽しみました。



H27.11.8

赤谷の森まつり 森の恵みのおもちゃづくりや東京おもちゃ美術館副館長の特別講演、新治小学校の生徒の特別発表、活動展示など盛りだくさんで開催しました。



H27.11.11

環境省自然保護官研修Ⅲ 自然保護官等を対象に赤谷プロジェクトの取組を三者協働で紹介し、地域とのつながりの持ち方などについて質問に答えました。



H27.11.18

新治こども教室

新治小学校で教育活動サポーターが放課後に実施している「新治こども教室」に、「森の恵みと学びの家」と協働でプログラムを提供し総勢74名が参加しました。



H27.12.7

JICAホンジュラス視察

ダム発電に関わりながら、地域との軋轢を乗り越えて緑と水を守り育てようとする方々に、赤谷プロジェクトの取組を紹介しました。



H27.12.19

赤谷カフェ～1杯の珈琲から考える持続可能な暮らし～ 「森の恵みと学びの家」で、メキシコの森林農法によるコーヒー栽培と赤谷プロジェクトの取組を話題に持続的な地域づくりについて考えました。

赤谷プロジェクト、って?

赤谷プロジェクトは、人と自然の共生と持続可能な地域づくりをめざして活動しています。地域、自然保護団体、国有林管理者という立場の異なる三者が共に活動するという、全国的にもめずらしい取組です。

活動地域は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる約1万 ha (10km四方)の国有林。ほぼ中央に赤谷川が流れることから「赤谷の森」と呼んでいます。

植物や生き物の調査・研究、環境教育、研修の受入れなど、活動はさまざま。毎月第一土曜日に行われる「赤谷の日」には、県内外のサポーターが調査や体験学習などを行っています。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

※トピックスの詳細は

赤谷森林ふれあい推進センター

検索



赤谷プロジェクトサポーター募集!

(たくさんの笑顔がまっています (^o^)/)



赤谷プロジェクトは、一緒に活動に加わっていただけるサポーターを募集しています。活動の中で研修の機会を豊富に用意しているため、自然や野外活動の知識や経験がないと心配される方も、学びつつ活動に参加できます。

■お問合せ先

(公財)日本自然保護協会：出島・松井

赤谷の森・基本構想掲載サイト

赤谷プロジェクトの目標や取組内容などについて詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

http://www.nacsj.or.jp/akaya/ap_masterplan.html (公財)日本自然保護協会

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/akaya/akayanomori-kihonkousou2015.html> 林野庁関東森林管理局赤谷森林ふれあい推進センター

この情報誌は、間伐材利用の紙を使用しています。

赤谷プロジェクト地域協議会

TEL 0278-25-8777

※森の恵みと学びの案内

理事(事務担当) 市毛 亮

メールアドレス m-ichige@takuminosato.or.jp

(公財)日本自然保護協会【NACS-J】

TEL 03-3553-4107

プロジェクト担当 出島 誠一

<http://www.nacsj.or.jp/akaya/index.html>

メールアドレス akaya@nacsj.or.jp

林野庁関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター

TEL 0278-60-1272

所長 藤澤 将志

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto/akaya_fc/index.html

メールアドレス akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp